

平成 21 年度決算に係る

定期監査  
決算審査  
調査  
調書

平成 22 年 4 月

農林総合研究所畜産試験場

目 次

1	前年度指摘事項に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	決算調書（総括表）	4 頁
8	事業別実施状況調べ	5 頁
9	予備費の充用調べ	5 頁
10	繰越関係調べ	5 頁
	(1) 継続費逐次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	6 頁
12	収入事務処理状況調べ	6 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
13	税外収入未済額調べ	8 頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	8 頁
15	税外収入不納欠損額調べ	8 頁
16	債務負担行為の状況調べ	8 頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	8 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	9 頁
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	9 頁
19	財産に関する調べ	10 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	15 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）	
21	借受不動産明細調べ	16 頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	16 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	17 頁
24	寄附物件の受納状況調べ	17 頁
25	備品の処分状況調べ	18 頁
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	22 頁
27	貸付金等状況調べ	22 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
	○意見、要望等	

農林総合研究所畜産試験場

個別様式

28	事業別予算執行状況調べ	24 頁
29	農業機械の管理状況	25 頁
30	生産物（品）に関する調べ	26 頁
31	試験研究調査事業別実施状況調べ	27 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし
- (3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
農林総合研究所 畜産試験場	肉用牛研究室	○家畜の飼養、繁殖・育成及び肥育技術に関すること。 ○家畜の生物工学を用いた改良増殖に関すること。 ○畜産経営技術の改善に関すること。
	育種改良研究室	○和牛種雄牛の造成及び凍結精液の作成配布に関すること。 ○家畜の育種を用いた改良増殖に関すること。
	酪農・飼料研究室	○飼料作物及び牧草の栽培調整利用技術に関すること。 ○飼料の分析に関すること。 ○その他畜産振興に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

(平成22年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計			備考
	当 年	該 度	21.4.1 現 在	当 年	該 度	21.4.1 現 在	当 年	該 度	21.4.1 現 在	
定員	0	0	14	14	11	12	25	26		
現員	0	0	14	14	11	11	25	25		
過不足(△)	0	0	0	0	0	△ 1	0	△ 1		現業職員1名休職
臨時職員	0	0	0	0	0	1	0	1		休職代替1名
非常勤職員	1	1	3	3	5	4	9	8		事務 1名 畜産技術員 5名 うち 研究補助 3名 飼養管理補助 2名 警備員 2名

5 役付職員の調べ

(平成22年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
場長	松田 義人	年 月 1 0	
室長(肉用牛研究室)	米村 功	2 0	継続勤務期間：7年
室長(育種改良研究室)	岡垣 敏生	0 0	
室長(酪農・飼料研究室)	瀬尾 哲則	1 0	継続勤務期間：4年

事業名	概要
<p>粗飼料重視型肉用牛経営システム試験（中山間地域における和牛繁殖牛の放牧と飼料稲を組み合わせた飼養管理体系の確立）</p> <p>【畜産試験場】</p> <p>決算（見込）額 4,446千円</p> <p>（財源内訳） 国庫支出金 0千円 一般財源 113千円 財産収入 4,333千円</p> <p>実施計画期間 H18～H22年度</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>不安定な輸入飼料価格と子牛価格の低迷から、和牛繁殖経営におけるコスト低減が強く望まれている。一方、転作による飼料稲（牛の餌用の稲）の増産が見込まれる中、これを活用した経営への転換が進みつつある。</p> <p>そこで、放牧と舎飼い（牛舎の中で飼う）期間中の稲ホルクroppサイレージ（稲WCS）給与を組み合わせた飼養管理における繁殖性に与える影響を調査し、稲WCS給与体系の特徴を明らかにする。</p> <p>また、通常なら良質乾草を給与する子牛の育成段階において稲WCSの利用により、コストの低減が見込まれることから、稲WCSを利用する飼育管理体系の中で子牛にも給与した場合の発育等を調査し、子牛育成への利用の適否を検証する。</p> <p>&lt;用語解説&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 和牛繁殖経営 母牛に子牛を生まれ、それを9か月齢程度で売って収入とする経営</li> <li>○ 稲ホルクroppサイレージ（稲WCS） 稲の株元から穂先まで全てを密封し、発酵させて作る長期保存可能な餌 WCSは、ホルクroppサイレージ（Whole Crop Silage）の略</li> <li>○ 繁殖性 発情が早く来て、確実に受胎するというような性質のこと。 牛の妊娠期間は285日で、通常1度に1頭しか子牛を生まないため、収入を増やすには1年毎に1頭必ず生まれたい。そのためには出産後3か月以内に妊娠する必要がある。</li> </ul> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 稲WCS長期給与が繁殖性に与える影響の検討（計画H18～22年度）</li> <li>2) 和子牛への稲WCS給与（計画H19～21年度）</li> <li>3) 稲WCS給与子牛の肥育（計画H20～21年度）</li> </ol> <p>イ 平成21年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点・・・なし</p> <p>ウ 成果</p> <p>舎飼い期間中の母牛に稲WCSを給与することにより、出生時の子牛の体格、活力等に問題もなく、また、その後の発育についても通常の購入良質乾草を給与した場合とそん色がなかった。また、コスト面では、出荷月齢である9か月齢までの生産コストが、約1万円削減できた。</p> <p>・ 以上のことから、和牛繁殖経営における稲WCS給与の有効性が示唆された。</p> <p>エ 課題</p> <p>(ア) 稲WCSの品質保持方法、あるいは品質が悪い場合の対処法の検討</p> <p>(イ) 発情回帰（分娩後、発情が来ること）等の繁殖性に課題が認められたことから、その原因の究明と、対処法を検討し、稲WCSの利用による繁殖和牛管理マニュアルを策定することが求められている。</p>

事業名	概要
自給飼料生産拡大試験 【畜産試験場】 決算(見込)額 10,429千円 (財源内訳) 財産収入 10,429千円 実施計画期間 H20～H22年度	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(7) 目的            県内酪農家の経営は、収入の低迷(生乳価格の低迷)、支出の増加(購入飼料価格の高騰)で厳しい状況にある。経営改善には生産費、特に飼料費の低減が必要であり、飼料の購入を抑え、自給率を高めることが重要である。            自給する飼料の中でも飼料用トウモロコシは、乳牛に適しており、その積極的活用が望まれる。            しかし、牛への飼料用トウモロコシの多量給与は、生乳の生産や牛の健康状態に与える影響が未確認であるため、その限度量を検討し、飼料費低減による収益性向上を図る。            また、飼料用トウモロコシの増産を進めるために、2期作栽培体系の検討試験も実施する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況            飼料用トウモロコシはサイレージ(注1)という形態で乳牛に給与した。トウモロコシサイレージを、一般農家が利用する2倍以上の量に相当する、飼料中40%の割合で利用した。            また、飼料用トウモロコシの2期作栽培に取り組んだ。</p> <p>イ 21年度実施に当たり改善等に取り組んだ点            前年度は、飼料中のトウモロコシサイレージの割合が30%設計で試験を行い、今回は、トウモロコシサイレージの給与量を増やすことで、収益性の増加を図ることができているか検証した。</p> <p>ウ 成果</p> <p>(7) 前年度と比べ、乳牛1日1頭当たりの生乳生産額(2,687円)は同等であり、飼料費(1,226円)は131円低減した。</p> <p>(イ) 空胎日数(注2)を加味した収益性は、前年度と比較し、285円の増加、率として24%の増加であった。</p> <p>(ウ) 乳牛の健康状態は良好であった。</p> <p>(エ) 飼料用トウモロコシの2期作栽培は可能であったが、生長や収量に改善の余地があった。            以上のことから、牛への飼料用トウモロコシの多量給与は、乳牛の健康に悪影響を与えず、飼料費の低減による生産コストの削減が可能となり、収益性も向上することが認められ、酪農経営における推奨できる給与方式として普及させたい。</p> <p>エ 課題</p> <p>(7) 今後、給与飼料中の粗飼料(注3)を全て自給飼料とする超低コスト飼料の試験を実施し、さらに収益性の向上を目指す。</p> <p>(イ) 飼料用トウモロコシの2期作栽培技術について、品種や栽培時期の検討により、収量の増加を図る。</p> <p>(注1) サイレージ：飼料を密閉し、発酵させることで長期保存が可能としたもの。            (注2) 空胎日数：牛が分娩後、次に妊娠するまでの日数。これが短い方が次の分娩が早くなり、多くの生乳を生産することができる。            (注3) 粗飼料：牧草や飼料作物(トウモロコシなど)であり、植物繊維を多く含んでいる。</p>

7 歳出調書 (総括表) (一般会計)

平成22年1月31日現在 (単位:円)

区分	科目	算			現			差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計 A		
歳出	農業総務費	7,833,000	13,345,000				21,178,000	17,209,614	3,968,386
	農業改良普及費	61,362,000	0				61,362,000	9,006,451	52,355,549
	農業試験場費	72,722,000	85,696,000				158,418,000	25,071,647	133,346,353
	園芸試験場費	167,225,000	17,597,000				184,822,000	61,207,612	123,614,388
	畜産試験場費	119,999,000	14,225,000				134,224,000	75,759,556	58,464,444
	中小家畜試験場費	68,382,000	0				68,382,000	37,960,485	30,421,515
	林業振興費	9,316,000	0				9,316,000	1,332,090	7,983,910
	林業試験場費	58,091,000	50,498,000				108,589,000	44,460,209	64,128,791
	合計	564,930,000	181,361,000				746,291,000	272,007,664	474,283,336
		農林水産業使用料	0					13,740	
同上	行政財産使用料	0						872,565	▲ 872,565
	農林水産業手数料	3,106,000					3,106,000	102,720	3,003,280
	農林水産業費国庫補助金	22,147,000	112,312,000				134,459,000	11,520,000	122,939,000
	農林水産業費委託金	1,049,000					1,049,000	1,957,000	▲ 908,000
	財産貸付収入	277,000					277,000	22,158	▲ 254,842
	生産物売払収入	44,142,000					44,142,000	45,205,629	▲ 1,063,000
	家畜販売収入	42,441,000					42,441,000	46,910,099	▲ 4,469,099
	地域活性化・生活対策臨時交付金基金繰入金		28,531,000				28,531,000		28,531,000
	農薬等検定受託事業収入	15,170,000					15,170,000	4,510,000	10,660,000
	農林水産研究高度化事業受託収入	7,122,000					7,122,000	10,278,000	▲ 3,156,000
財源内訳	プロジェクト研究受託事業収入	1,000,000					1,000,000	1,000,000	0
	肥育技術実証試験受託事業収入	544,000					544,000	544,000	0
	森林総合研究所受託事業収入		1,500,000				1,500,000	1,500,000	0
	農業・食品産業技術総合研究機構受託事業収入		1,755,000				1,755,000		1,755,000
	国立大学法人鳥取大学受託事業収入		2,950,000				2,950,000		2,950,000
	関西地区林業協議会受託事業収入		2,040,000				2,040,000	2,040,000	0
	雑入	708,000					708,000	600,853	107,147
	小計	137,706,000	149,088,000				286,794,000	127,076,764	159,717,236
	一般県費充当	427,224,000	32,273,000				459,497,000	144,930,900	314,566,100
	合計	564,930,000	181,361,000				746,291,000	272,007,664	474,283,336

## 8 事業別実施状況調べ

(平成22年1月31日現在)  
(単位:円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(畜産試験場費) 管理運営費 【畜産試験場】	32,048,000	9,440,494	0	22,606,506	庁舎・牛舎・ほ場の警備、 清掃委託料、光熱水費、庁 舎修繕料、消耗品等の購入 等維持管理を行う。
施設整備費 【畜産試験場】	2,406,000	2,037,000	0	369,000	分析用機器の導入 オートワッシャー：1台
試験研究費 【畜産試験場】	99,770,000	64,282,062	0	35,487,938	試験研究課題等15事業 を実施。 詳細は、「6主な事業に関 する調べ」及び「31試験研 究調査事業別実施状況調べ」 に記載。
目計	134,224,000	75,759,556	0	58,464,444	
合計	134,224,000	75,759,556	0	58,464,444	

9 予備費の充当調べ 該当なし

## 10 繰越関係調べ

- (1) 継続費逐次繰越調べ 該当なし
- (2) 繰越明許費調べ 該当なし
- (3) 事故繰越調べ 該当なし

11 収入証紙取扱額調べ

(平成22年1月31日現在)  
(単位：円)

目	収入科目		件数	単価 (円)	証紙はりつけ額 (円)	備考
	節	目				
農林水産業手 数料	畜産業手数料	農家探卵受託手数料	73	43,000	3,139,000	
		飼料分析手数料	597	700	417,900	
		雌雄性判別手数料	0	21,200	0	
		計(節)	670		3,556,900	
	目計	670		3,556,900		
	合計	670		3,556,900		

12 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
行政財産使 用料	行政財産使用料	電力	1	14,280	14,280	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
		電気通信	1	19,500	19,500	0	0	"	
		自動販売機	1	5,160	5,160	0	0	"	
		郵便ポスト	1	375	375	0	0	"	
		計(節)	4	39,315	39,315	0	0		
	目計	4	39,315	39,315	0	0	0		
	合計	4	39,315	39,315	0	0	0		

(3) 手数料

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
農林水産業 手数料	畜産業手数料	農家探卵受託手数料	1	1,849,000	1,849,000	0	0	鳥取県手数料徴収条例	証紙収入
		飼料分析手数料	1	206,500	206,500	0	0	"	"
		計(節)	2	2,055,500	2,055,500	0	0		
	目計	2	2,055,500	2,055,500	0	0	0		
	合計	2	2,055,500	2,055,500	0	0	0		



## (4) 財産収入

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
生産物売払収入	牛乳、精液、子牛等売払	35	21,273,283	21,090,373	0	182,910	生産品事務取扱要領(物品規則)	
	計(節)	35	21,273,283	21,090,373	0	182,910		
目計		35	21,273,283	21,090,373	0	182,910		
家畜類売払収入	豚畜類売払収入	70	37,287,559	36,628,777	0	658,782	生産品事務取扱要領(物品規則)	
	計(節)	70	37,287,559	36,628,777	0	658,782		
目計		70	37,287,559	36,628,777	0	658,782		
合計		105	58,560,842	36,650,240	0	841,692		

(単位：円)

## (5) 寄付金 該当なし

## (6) 諸収入

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
雑入	肥育者情報提供費	1	9,640	9,640	0	0		
	農機具庫シヤツタ	1	70	70	0	0		
	一工事の電気料金	4	13,843	13,843	0	0		
	自動販売機設置取扱手数料	4	20,840	20,840	0	0		
目計		2	22,500	22,500	0	0		
合計		66,893	66,893	66,893	0	0		
合計		66,893	66,893	66,893	0	0		

13 税外収入未済額調べ

(平成22年度1月31日現在)  
(単位:円)

収入科目	区分	過年度			年度分			現年度分			収入未済額計 A+B	未收理由
		前年度 以前の繰 越額	左のう ちの収 入済額	不納欠 損額	収入 未済額 A	収入未済額の調定年度内訳 18年度 以前	19年度	20年度	調定額	収入済 額		
生産物 売収入	節	0	0	0	0	0	0	182,910	0	182,910	182,910	納期未到来
	細節 精液売 払	0	0	0	0	0	0	182,910	0	182,910	182,910	
	計(節)	0	0	0	0	0	0	182,910	0	182,910	182,910	
家畜類 売収入	節	0	0	0	0	0	0	658,782	0	658,782	658,782	納期未到来
	細節 牛売払	0	0	0	0	0	0	658,782	0	658,782	658,782	
	計(節)	0	0	0	0	0	0	658,782	0	658,782	658,782	
	目計	0	0	0	0	0	0	841,692	0	841,692	841,692	
	合計	0	0	0	0	0	0	841,692	0	841,692	841,692	

14 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし

15 税外収入不納欠損額調べ 該当なし

16 債務負担行為の状況調べ 該当なし

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ  
(1) 負担金

(平成22年1月31日現在)  
(単位:円)

予算科目 (目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	(支出年月日) 支出金額	備考
(畜産試験場費) 支出額が10万円 未済のもの						37,000	安全運転運行管理者協議会費 10,000円 全国畜産関係場所長会費 27,000円
目計						37,000	
合計						37,000	

(2) 補助金 該当なし

(2-2) 補助金 (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの) 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

予算科目 (目)	国庫 単位の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初		契約		入札等 年月日 (契約締結 年月)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況		備考	
				予定価格	変更	契約 年月日 (契約 締結 年月日)	契約 期間 (最終)			支出 区分	支出 年月日		金額
畜産試験場費	単県	自動搾乳システムメンテナンス業務委託	藤原産業(株)鳥取営業所	1,260,000	( )	H21.4.1	H21.4.1	H21.3.24	H21.5.31	精	H21.7.10外	840,000	本システムの代理店で メーカーにば保守がで ない。
畜産試験場費	単県	遺伝子解析装置保守点検委託業務	(有)友田大洋堂	315,000	( )	H22.1.21	H22.1.21	H21.11.11	-	精	-	-	本システムの代理店で メーカーにば保守がで ない。
予定価格が20万円未満のもの												378,997	
目計												1,218,997	
合計												1,218,997	

(単位:円)

(4-2) 委託料 (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの) 該当なし

18 工事請負費調べ 該当なし

18-2 工事請負費調べ (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの) 該当なし

19 財産に関する調べ

(1) 公有財産  
ア 土地

(平成22年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	本年度異動状況						本年度末		備考		
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日		面積 (㎡)	価額 (円)
行政財産	畜産試験場	琴浦町松谷字西高野606-1 外	269,482.85	4,635,274	減少	H	0	0	H	269,482.85	4,635,274		
計			269,482.85	4,635,274			0	0		269,482.85	4,635,274		
普通財産			0	0	増加	H	0	0	H				
計			0	0	減少	H	0	0	H	0	0		
合計			269,482.85	4,635,274			0	0		269,482.85	4,635,274		

イ 建物

(平成22年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	本年度異動状況						本年度末		備考		
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日		面積 (㎡)	価額 (円)
行政財産	事務所	琴浦町松谷	716.20	34,684,000	減少	H	0	0	H	716.20	34,684,000		
	ボンベ庫		6.00	事務所に含む	減少	H	0	0	H	6.00	事務所に含む		
	直接検定牛舎		448.00	13,160,000	増加	H	0	0	H	448.00	13,160,000		
					減少	H	0	0	H	448.00	13,160,000		

(平成22年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考		
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)			
行政 財産	鍋屑置場		42.00	2,614,245	増加	H	0	0							
					減少	H	0	0					42.00	2,614,245	
	種雄牛舎		777.60	21,500,000	増加	H	0	0							
					減少	H	0	0					777.60	21,500,000	
	人工授精舎		235.00	5,993,906	増加	H	0	0							
					減少	H	0	0					235.00	5,993,906	
	管理舎		19.87	800,000	増加	H	0	0							
					減少	H	0	0					19.87	800,000	
	和牛育成 牛舎		301.18	5,640,000	増加	H	0	0							
					減少	H	0	0					301.18	5,640,000	
	和牛繁殖 牛舎		603.20	45,170,000	増加	H	0	0							
					減少	H	0	0					603.20	45,170,000	
	待機牛舎		216.00	3,171,088	増加	H	0	0							
					減少	H	0	0					216.00	3,171,088	
秤量場		19.87	665,000	増加	H	0	0								
				減少	H	0	0					19.87	665,000		
車庫		160.00	9,913,000	増加	H	0	0								
				減少	H	0	0					160.00	9,913,000		
屋外便所		3.75	196,500	増加	H	0	0								
				減少	H	0	0					3.75	196,500		

(平成22年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考			
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)				
行政 財産	生物工学棟 (生物)		220.91	23,237,229	増加	H	0	0								
					減少	H	0	0					220.91	23,237,229		
	農機農庫		335.40	7,335,367	増加	H	0	0								
					減少	H	0	0					335.40	7,335,367		
	供卵・受卵 牛舎		1,023.76	40,379,000	増加	H	0	0								
					減少	H	0	0					1,023.76	40,379,000		
	繋留場		33.92	1,000,000	増加	H	0	0								
					減少	H	0	0					33.92	1,000,000		
	肥育牛舎		837.01	37,080,000	増加	H	0	0								
					減少	H	0	0					837.01	37,080,000		
	堆肥舎		997.20	49,985,150	増加	H	0	0								
					減少	H	0	0					997.20	49,985,150		
隔離舎		262.20	16,380,000	増加	H	0	0									
				減少	H	0	0					262.20	16,380,000			
後代検定 牛舎		1,112.30	79,191,000	増加	H	0	0									
				減少	H	0	0					1,112.30	79,191,000			
飼料保管庫		250.00	15,309,000	増加	H	0	0									
				減少	H	0	0					250.00	15,309,000			
乳牛舎		737.10	69,241,200	増加	H	0	0									
				減少	H	0	0					737.10	69,241,200			

(平成22年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日		面積(m <sup>2</sup> )
行政財産	生物工学棟(畜種)				増加	H	0	0		H		
			525.08	74,517,450	減少	H	0	0		H	525.08	74,517,450
	旧乳牛舎				増加	H	0	0		H		
			396.69	3,600,000	減少	H	0	0		H	396.69	3,600,000
普通財産	旧乳牛育成牛舎				増加	H	0	0		H		
			198.34	1,500,000	減少	H	0	0		H	198.34	1,500,000
	旧飼料庫		148.76	2,150,000	減少	H	0	0		H	148.76	2,150,000
計			10,627.34	564,413,135			0	0			10,627.34	564,413,135
普通財産	計				増加	H	0	0		H		
			0	0	減少	H	0	0		H	0	0
合計			10,627.34	564,413,135			0	0			10,627.34	564,413,135

ウ 山林 該当なし

エ 不動産売却等 該当なし

オ 財産の交換 該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし

キ 物権 該当なし

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし

ケ 有価証券 該当なし

コ 出資による権利 該当なし

## (2) 金券類の受払状況

(平成22年1月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 38,650	円 48,800	円 34,430	円 53,020	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスリピードカード	0	0	0	0	
合 計	38,650	48,800	34,430	53,020	

(3) 基金 該当なし

(4) 債権

(平成22年1月31日現在)

債権の名称	前年度末		本 年 度 中				本年度末		備 考
	金 額	件数	増		減		金 額	件数	
			金 額	件数	金 額	件数			
行政財産使用料	円 101,220	7	円 15,000	1	円 39,315	1	円 76,905	7	
合 計	101,220	7	15,000	1	39,315	1	76,905	7	



20 財産の貸付及び使用許可調べ  
 (1) 土地及び建物  
 ア 土地

(平成22年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円) 本年度の貸付(使用)料	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住氏名	備考
								単価	本年の貸付(使用)料		
行政財産	電力供給施設	琴浦町松谷字西高野606-1	電柱 6	平18.2.1	昭51.4.1	平18.4.1	8,400	1,500	倉吉市駄経寺245-6 中国電力(株)倉吉営業所		
			支線 4			平23.3.31	180				
			電柱 7	平18.2.1	昭58.7.19	平18.4.1	180				
			支線 5			平23.3.31	2,520				
			支線 2			平18.4.1	180				
			支線 1	平18.2.1	平4.4.1	平18.4.1	360				
			支線 1			平23.3.31	180				
			支線 1	平18.2.1	平9.2.27	平18.4.1	1,500				
			支線 1			平23.3.31	3,000				
						平20.4.1	1,500				
普通財産	電気通信設備		電柱 5	平20.4.1	昭58.4.1	平20.4.1	16,500	1,500	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株) 鳥取支店		
			支線 4			平21.4.1	3,000				
			支線 1	平21.4.1	平16.4.16	平21.4.1	1,500				
			支線 1			平26.3.31	1,500				
普通財産	郵便ポスト		1 台	平20.4.1	平20.4.1	平20.4.1	375	375	東京都千代田区霞が関1-3-2 日本郵政(株) 鳥取市緑ヶ丘2-667-14 (株)戸信		
			1 台	平19.6.29	平19.6.29	平19.7.1	430				
計											
普通財産											
合計							39,315				

イ 建物 該当なし 該当なし  
 (2) 物品 (1品の取得価格が100万円以上のもの) 該当なし

21 借受不動産明細調べ 該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場  
ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	(平成21年3月31日現在) 貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	畜産試験場 (東伯郡琴浦町松谷606)	12.5	1,000
普通財産	該当なし		

イ 異動状況

月別	(畜産試験場：行政財産)			増		減		月末日		調定額	(平成21年3月31日現在)	
	月初日	人	うち減免 人	人	うち減免 人	人	うち減免 人	うち減免 人	うち減免 人		収入済額	収入未済額
4月	33人	人	人	人	人	33人	33人	0円				
5月	33					33	33	0				
6月	33					33	33	0				
7月	33					33	33	0				
8月	31	2	2			31	31	0				
9月	33			2	2	33	33	0				
10月	33	1	1	1	1	33	33	0				
11月	33					33	33	0				
12月	33					33	33	0				
1月	33					33	33	0				
2月												
3月												
合計								0円		0円		0円

23 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行キロ数	本年度			備考
					稼働日数	(1ヶ月平均)走行キロ数	修理費等	
普通貨物トラック	H9	鳥11 せ84-84	保管換 H9.07.15 H9.07.15	km 68,712	日 33	(326) km 3,263	円 136,719 (内訳) 12ヶ月点検 73,899 車検等 56,520 ｽｰﾎﾞﾙ交換 6,300	
小型貨物ダンプ	H10	鳥取45 そ50-37	保管換 H10.05.27 H10.05.27	20,642	205	(99) 989	215,307 (内訳) 12ヶ月点検 113,127 6ヶ月点検 57,330 車検等 44,850	
普通貨物自動車	H15	鳥取100 は4-98	保管換 H15.06.27 H15.06.27	16,148	40	(144) 1,436	194,910 (内訳) 12ヶ月点検 63,630 3ヶ月点検 15,960 3ヶ月点検 15,960 車検等 99,360	
合計		3台					546,936	

24 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

25 備品の処分状況調べ

品名 (規格銘柄)	数量	(保管年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不用決定年月日	不用とする理由	処 分				備考
							売却 棄却 の別	売却方法 ・ 棄却理由	処分 年月日	売却額 処分費用	
和牛 (真美36)	1	1907.20	年 8	512,400	21.04.08	現場飼代 検定終了	売却	委託販売	21.04.13	805,897	
和牛 (公富4)	1	1907.20	8	498,750	〃	〃	〃	〃	〃	589,309	
和子牛	1									462,000	
和牛 (やすかみ8624)	1	18.09.01	8	333,866	〃	繁殖障害 (不発)	〃	世売	21.04.22	176,400	
和牛 (しよた5295)	1	17.12.01	8	327,000	〃	〃	〃	〃	〃	131,250	
乳牛(ピルリーエポワ ワーベージュベジ)	1	17.06.01	8	85,000	21.04.22	慢性 乳房炎	〃	〃	〃	160,650	
和牛 (みづくの3)	1	19.06.06	8	474,600	21.05.13	現場飼代 検定終了	〃	委託販売	21.05.18	909,365	
和牛 (はるひめ74)	1	19.06.06	8	425,250	〃	〃	〃	〃	〃	712,900	
和牛 (やわら2)	1	19.07.20	8	372,750	〃	〃	〃	〃	〃	634,618	
和牛 (しよかも)	1	19.07.20	8	445,200	〃	〃	〃	〃	〃	759,482	
和牛 (きよゆき)	1	19.07.20	8	513,450	〃	〃	〃	〃	21.05.25	573,190	
和牛 (うしよか)	1	19.07.20	8	523,950	〃	〃	〃	〃	〃	664,674	
和牛 (しよこ)	1	19.07.20	8	612,150	〃	〃	〃	〃	〃	737,077	
和牛 (かよし)	1	19.07.20	8	488,250	〃	〃	〃	〃	〃	767,244	
和牛 (福彦皮)	1	19.07.01	8	405,021	21.05.27	肥育環境 終了	〃	〃	21.06.01	870,196	
和牛 (安新新2002)	1	19.07.01	8	405,021	〃	〃	〃	〃	〃	564,326	
和牛 (美幸朝勝)	1	19.07.01	8	405,021	〃	〃	〃	〃	〃	771,009	
和牛 (金羽勝)	1	13.07.12	8	735,000	21.06.10	計画毎太	〃	〃	21.06.13	53,513	
和牛 (沢富)	1	19.10.18	8	490,350	21.06.17	現場飼代 検定終了	〃	〃	21.06.22	709,863	
和牛 (盛西公)	1	19.12.06	8	614,250	〃	〃	〃	〃	〃	871,459	
乳牛(ピルリークラス ルイニタータ街)	1	15.05.01	8	35,000	21.06.24	肢蹄疾患	〃	世売	21.06.24	142,800	
乳牛 (ベッカム)	1	15.02.01	8	51,000	21.07.02	〃	〃	委託販売	21.07.02	36,246	
和牛 (糸寿)	1	16.12.03	8	630,000	21.07.13	育成期除 淘汰	〃	〃	21.07.16	45,087	

品名 (規格・銘柄)	数量	(保畜年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不用 決定 年月日	不用 とする 理由	処 分				備考
							売却 棄却 の別	売却方法 ・ 棄却理由	処分 年月日	売却額 処分費用	
和牛 (F2283)	1	17.07.08	8	213,150	21.07.22	繁殖障害 (不受胎)	〃	世売り	21.07.22	101,850	
和牛 (やすも)8630)	1	18.10.01	8	343,972	〃	〃	〃	〃	〃	155,400	
和牛 (琴富皮)	1	19.08.01	8	421,906	〃	育成解除 淘汰	〃	委託販売	21.07.27	54,852	
和牛 (福茂勢)	1	20.08.01	8	321,277	〃	〃	〃	〃	〃	36,425	
和牛 (金西球)	1	19.12.06	8	477,750	21.07.29	現場後代 検定終了	〃	〃	21.08.03	701,115	
和牛 (悟郎)71)	1	19.12.06	8	532,350	〃	〃	〃	〃	〃	782,416	
和牛 (大森)	1	19.12.06	8	530,250	〃	〃	〃	〃	〃	854,068	
和牛 (ふくなみ)	1	12.11.27	8	789,600	21.08.06	計画淘汰	〃	世売り	21.08.06	69,300	
和牛 (F2622)	1	17.03.23	8	199,500	〃	繁殖障害 (不受胎)	〃	〃	〃	118,650	
和牛 (F8266)	1	17.07.08	8	189,000	〃	〃	〃	〃	〃	135,450	
和牛 (照美勢)	1	19.12.01	8	416,000	21.08.05	肥育試験 終了	〃	委託販売	21.08.10	921,941	
和牛 (安福女鶴)	1	19.12.01	8	416,000	〃	〃	〃	〃	〃	770,624	
和牛 (あずさ)46)	1	20.01.17	8	408,450	21.08.12	現場後代 検定終了	〃	〃	21.08.17	702,066	
和牛 (百合金忠)	1	19.07.01	8	405,022	21.08.19	肥育試験 終了	〃	〃	21.08.24	887,353	
和牛 (安福青)	1	21.01.16	8	651,000	21.08.24	直接検定 不合格	〃	世売り	〃	243,600	
和牛 (山櫻)	1	21.01.16	8	640,500	〃	〃	〃	〃	〃	278,250	
和牛 (はらてる)7691)	1	19.10.01	8	309,347	21.08.19	肥育試験 終了	〃	委託販売	〃	779,340	
和牛 (ほうなんまつ)	1	19.10.18	8	385,350	〃	現場後代 検定終了	〃	〃	〃	1,064,488	
乳牛(インリー エアロラ フーテンヌール)	1	20.05.01	8	56,000	21.09.01	肢痛疾患	〃	〃	21.09.01	17,838	
和牛 (福皮久)	1	20.10.01	8	325,790	21.09.02	消化器 疾患	〃	〃	21.09.07	85,635	
和牛 (さかなみ)5292)	1	17.11.01	8	343,000	〃	計画淘汰	〃	〃	21.09.07	22,601	
和牛 (はしまつさかえ)	1	19.12.06	8	463,050	21.09.09	現場後代 検定終了	〃	〃	21.09.14	727,036	
和牛 (たなしまつ)	1	19.12.06	8	423,150	〃	〃	〃	〃	21.09.14	668,520	
和牛 (まがな)	1	19.12.06	8	368,550	〃	〃	〃	〃	21.09.14	688,532	

品名 (規各銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不用 決定 年月日	不用 とする 理由	処 分				備考
							売却 棄却 の別	売却方法 ・ 棄却理由	処分 年月日	売却額 処分費用	
和牛 (はるか27661)	1	19.12.01	8	312,282	〃	肥膏試験 終了	〃	〃	21.09.14	495,733	
和牛 (第2平勝志)	1	21.03.02	8	307,535	21.09.28	直接鑑定 不合格	〃	世売り	21.09.28	323,400	
和牛 (八重松)	1	20.01.17	8	422,100	21.09.30	現場飼代 鑑定終了	〃	委託販売	21.10.03	987,715	
和牛 (百合金)	1	19.11.01	8	416,822	21.10.07	肥膏試験 終了	〃	〃	21.10.13	669,810	
和牛 (百合正)	1	19.12.01	8	416,822	〃	〃	〃	〃	21.10.13	949,639	
和牛 (千春2)	1	20.01.01	8	416,793	〃	〃	〃	〃	21.10.07	637,337	
和牛 (はらてる7656)	1	19.10.01	8	309,347	21.10.14	〃	〃	〃	21.10.14	470,237	
和牛 (はらてる7663)	1	19.12.01	8	312,282	〃	〃	〃	〃	21.10.14	409,354	
和牛 (はるやえひめ)	1	20.01.17	8	436,800	21.10.21	現場飼代 鑑定終了	〃	〃	21.10.21	643,510	
和牛 (ナカコ)	1	20.01.17	8	486,150	〃	〃	〃	〃	21.10.21	917,383	
乳牛(サンパリーアイロコカ ガターファス)	1	16.06.01	8	58,000	21.10.30	肢蹄疾患	〃	〃	21.10.30	30,755	
和牛 (やえひめ82)	1	20.03.07	8	483,000	21.11.25	現場飼代 鑑定終了	〃	〃	21.11.27	947,164	
和牛 (かまこ2)	1	20.03.07	8	479,850	〃	〃	〃	〃	21.11.27	1,087,176	
和牛 (零良松)	1	20.04.01	8	427,460	〃	〃	〃	〃	21.11.27	635,381	
和牛 (ひまわり47)	1	20.03.07	8	478,800	〃	〃	〃	〃	21.11.30	638,425	
和牛 (大山)	1	20.04.17	8	532,350	21.12.02	〃	〃	〃	21.12.07	738,211	
和牛 (勝美津)	1	20.04.17	8	536,550	〃	〃	〃	〃	21.12.07	682,484	
和牛(福金松3 (1253213803))	1	21.06.01	8	308,348	21.12.16	直接鑑定 不合格	〃	世売り	21.12.16	286,650	
和牛 (しとみ8643)	1	19.04.01	8	369,945	〃	繁殖障害 (不受胎)	〃	〃	21.12.16	36,750	
和牛 (やすたか5298)	1	18.02.01	8	367,000	〃	〃	〃	〃	21.12.16	106,050	
和牛 (やえひら)	1	20.03.07	8	333,900	22.01.13	現場飼代 鑑定終了	〃	委託販売	22.01.15	898,806	
和牛 (おさやえひめ)	1	20.03.07	8	420,000	〃	〃	〃	〃	22.01.15	1,020,908	
和牛 (安福皮)	1	20.04.01	8	427,460	〃	肥膏試験 終了	〃	〃	22.01.18	658,782	
小 計	70			28,072,839						37,287,559	

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不 用 決 定 年 月 日	不 用 と す る 理 由	処 分				備考
							売却 棄却 の別	売却方法 ・ 棄却理由	処 分 年 月 日	売却額・ 処分費用	
乳牛(ハイハイター・アイダコック エマソン・パール)	1	18.02.01	8	84,000	21.09.23	死亡	棄却	売却不能	21.09.23	0	
小 計	1			84,000						0	
恒温振とう培養機 (TAL-S12)	1	58.03.25	5	550,000	21.8.27	修繕不能	棄却	売却不能	21.09.02	10,950	鉄屑代
多連スターラー (マグミキサー)	1	10.07.09	5	182,910	"	"	"	"	21.09.02		
XI払機 (YBC2600E)	1	11.03.29	15	56,280	"	"	"	"	21.09.02		
XI払機 (RYOBEK-200K)	1	02.06.29	15	49,440	"	"	"	"	21.09.02		
草刈機 (HATSUTAHNB)	1	04.09.01	15	46,600	"	"	"	"	21.09.02		
直下型換気扇 (FY14DGCE-60)	1	11.11.22	6	795,585	"	"	"	"	21.09.02		
XI払機 (YBC24IHDE)	1	05.03.17	15	54,000	"	"	"	"	21.09.02		
運搬車 (飼料用自卸車)	1	58.03.22	4	37,000	"	"	"	"	21.09.02		
牛用扇風機 (SF450D-1V)	1	54.03.20	6	35,000	"	"	"	"	21.09.02		
2槽流し台 (ステンスSUS430)	1	55.03.25	5	50,000	"	"	"	"	21.09.02		
ダクトファン (DF-40DS-B)	1	61.08.18	8	67,500	"	"	"	"	21.09.02		
ダクトファン (DF-40DS-B)	1	61.08.18	8	67,500	"	"	"	"	21.09.02		
疑社台 (鉄材による組立)	1	40.03.31	15	60,000	"	"	"	"	21.09.02		
草刈機 (NB253AU108971)	1	09.06.27	15	50,400	"	"	"	"	21.09.02		
小 計	14			2,102,215						10,950	
合 計	85			30,259,054						37,298,509	

## 26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(平成22年1月31日現在)

現金、有価証券又は物品名	数量	金額	出納員又は使用者職氏名	亡失、損傷年月日、時	同左場所	同左概要	報告年月日	会計局の審査結果
ハインパリー アウターロッタ イマージュ ヘル (乳牛)	1	円 84,000 (死亡)	酪農・飼料 研究室長 瀬尾 哲則	H21.9.23	農林総合 研究所畜 産試験場 乳牛舎	当該牛は、9月22日の朝、牛舎内で体温37.5℃、伏臥、両側後肢開脚伸長、後駆脱力、起立不能を呈した。直ちに起立介助を試みたが、完全な起立不能を認めた。その後、牛の安息場所の確保、補液を実施するも衰弱進行、横臥、四肢伸長、食欲廃絶に至り、9月23日午後7時30分に死亡を確認した。	H21. 9.24	賠償責任なし
公用車 軽乗用自動車	1	「リース車両」 (41,255円)	研究員 野儀 卓哉	H22.1.19	農林総合 研究所畜 産試験場 内	出張先へ向かおうと後進させたところ、後方に駐車されていた車両（所有者は同場旧人工授精舎の改修工事関係者）の側面に公用車の運転席側後方が追突した。	H22. 1.21	—
合計	2	—						

## 27 貸付金等状況調べ

- (1) 総括表 該当なし  
(2) 償還状況 該当なし



○意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし
------

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし
------

## 28 事業別予算執行状況調べ

目 名		財産管理費		(平成22年1月31日現在)
事業名	予算額 円	支出済額 円	左の事業内訳	
県有施設営繕事業	847,700	847,700	(事業概要) 場内施設2箇所を修繕	
計	847,700	847,700		

目 名		農業総務費		(平成22年1月31日現在)
事業名	予算額 円	支出済額 円	左の事業内訳	
農林水産試験場臨時的調査研究事業	313,920	190,332	(事業概要) 短期・緊急課題について3課題実施	
計	313,920	190,332		

目 名		畜産振興費		(平成22年1月31日現在)
事業名	予算額 円	支出済額 円	左の事業内訳	
優良種雄牛造成事業	7,923,144	4,452,250	(事業概要) 優秀な種雄牛造成のための雄牛導入と現場後代検定を円滑に行うための経費。	
和牛再生促進事業	4,000,000	2,358,300	(事業概要) 県外から優秀な採卵用繁殖雌牛を導入する。岐阜県から4頭導入。	
自給飼料増産支援事業	439,000	0	(事業概要) 条件の異なる現地農家圃場で、トウモロコシ優良品種の栽培試験を実施し、各地の条件とニーズに合った品種を選定。	
計	12,362,144	6,810,550		

目 名		畜産試験場費		(平成22年1月31日現在)
事業名	予算額 円	支出済額 円	左の事業内訳	
畜産試験場管理運営費	32,048,000	9,440,494	(事業概要) 庁舎・牛舎・ほ場の警備、清掃委託料、光熱水費、庁舎修繕料、消耗品等の購入等維持管理を行う経費。	
施設整備費	2,406,000	2,037,000	(事業概要) 肥育牛の血中ビタミン濃度、飼料中の有機酸含有量及び和牛肉中のうまみ成分(遊離アミノ酸)を測定している液体クロマトグラフの自動分析に必要な機器(液体クロマトグラフ用オートサンプラー)を購入する経費。	
試験研究費	99,770,000	64,282,062	(事業概要) 試験研究課題等15事業を実施。 詳細は、「6主な事業に関する調べ」及び「31試験研究調査事業別実施状況調べ」に記載。	
計	134,224,000	75,759,556		

## 29 農業機械の管理状況

(平成22年1月31日現在)

品名	型式及び規格	取得年月日	用途	稼働日数 (日)	燃 料		修繕費等 (円)	左の主な内容 (円)		備考
					消費量 (L)	金額 (円)				
トラクター	フォート 4600B	保管換S53年 6月27日 S53年6月27日	圃場管理	256	693	48,374	61,950	セルモーター脱着	61,950	
"	代キ T8010F	保管換S61年 6月18日 S61年6月18日	"	40	627	43,772	60,900	バッテリー取替	60,900	
"	ジョン デール 2650D	保管換H3年 7月17日 H3年7月17日	"	100	840	59,149	0	—		
"	マツバ F6160- 4C	保管換H7年10 月16日 H7年10月16日	"	45	1,656	115,399	158,813	スクリュー脱着 セルモーター脱着 マイクロスイッチ交換	30,975 88,200 39,638	
"	マツバ F6160- 4C	保管換H9年 6月26日 H9年6月26日	"	30	723	50,564	55,230	タイヤ交換	55,230	
ミニ ホイル ローダー	コマツ WA20-2	保管換H5年 7月27日 H5年7月27日	牛舎管理	204	257	18,078	36,750	オイル・エレメント交換 特定自主検査	15,750 21,000	
"	コマツ WA40-3	保管換H5年 3月10日 H5年3月10日	"	124	1,054	74,013	78,923	特定自主検査 作動油漏れ修理 特定自主検査後補修	21,189 17,325 40,409	
"	コマツ WA20-2 E	保管換H8年 3月6日 H8年3月6日	"	122	401	28,445	134,557	特定自主検査 パンクタイヤ脱着 バッテリー交換 ケーブル交換	40,362 8,295 31,500 54,400	
"	ホクタ RA300- 3	保管換H15年 6月5日 H15年6月5日	"	306	761	53,396	65,947	バッテリー取替 定期点検	19,950 45,997	
"	ホクタ R520-D	保管換H15年 10月17日 H15年10月17日	"	120	366	25,520	79,631	特定自主検査	79,631	
計	—	—	—	—	7,378	516,709	732,701	—		

30 生産物(品)に関する調べ

(平成22年1月31日現在)

生産部門	品名種類	作位面積	生産量	生産年度の越前年繰	生産数			場内使用	処却			数量			備考	
					生産入	生産	計		数量	金額	目的	数量	金額	数量		金額
生乳			kg 157,680	kg 0	kg 182,429	kg 182,429	kg 40	kg 174,031	kg 18,387,908	kg 0	kg 0	kg 182,389	円 18,387,908	円 0	12月繰り	
精液			本 24,000	本 269,931	本 286,589	本 173	本 2,734	円 1,414,875	円 0	本 0	本 0	本 3,164	円 1,414,875	円 283,252	本	
精牛受精卵			個 50	個 520	個 708	個 32	個 0	円 0	円 0	個 1	個 1	個 0	円 0	円 0	個 675	
小計									円 19,802,783				円 19,802,783			
粗飼料	生苜蓿	ha 0.1	kg 4,000	kg 0	kg 5,887	kg 5,887	kg 0	kg 0	円 0	kg 0	kg 0	kg 0	円 0	円 0	kg 0	試菌
飼料	牧草	ha 14.8	kg 510	kg 181	kg 662	kg 289	kg 0	円 0	円 0	kg 0	kg 0	kg 0	円 0	円 0	kg 0	373
飼料	干草	ha 0	kg 152	kg 152	kg 152	kg 152	kg 0	円 0	円 0	kg 0	kg 0	kg 0	円 0	円 0	kg 0	0
生産	干草	ha 4.7	kg 280,115	kg 78,515	kg 262,815	kg 95,177	kg 0	円 0	円 0	kg 0	kg 0	kg 4,875	円 0	円 162,763	kg 0	162,763
小計									円 0				円 0			
家畜	乳牛		頭 25	頭 23	頭 53	頭 22	頭 5	円 1,270,500	円 0	頭 2	頭 0	頭 7	円 1,270,500	円 0	頭 24	
畜	乳牛		頭 18	頭 8	頭 23	頭 9	頭 10	円 200,000	円 0	頭 1	頭 0	頭 11	円 200,000	円 0	頭 3	
小計			頭 43	頭 31	頭 76	頭 31	頭 14	円 1,470,500	円 0	頭 3	頭 0	頭 18	円 1,470,500	円 0	頭 27	
合計								円 21,273,283					円 21,273,283			

31 試験研究調査事業別実施状況調べ（平成22年1月31日現在）

(1) 鳥取に適した牛胚移植成績向上のための技術開発	28頁
(2) ガラス化保存による牛性判別胚の簡易融解技術の確立	28頁
(3) 経膈採卵による1卵生多子生産技術の開発	29頁
(4) 粗飼料重視型肉用牛経営システム試験	29頁
(5) 現地普及型肥育技術実証試験	30頁
(6) 優良遺伝子を用いた新鳥取和牛の創造	31頁
(7) 鳥取和牛肉うまみ開発試験	32頁
(8) 和牛産肉能力検定直接検定試験	33頁
(9) 現場後代検定試験	34頁
(10) 牛の精液供給事業	35頁
(11) 自給飼料生産拡大試験	35頁
(12) 粗飼料増産のための優良品種選定試験	36頁
(13) 飼料分析を活用した給与技術改善支援事業	36頁

(1)

担当室別	事業名	試験研究調査の目的	実施計画期間	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲
			(予算額) 支出済額		
肉用牛研究室	鳥取に適した牛胚移植成績向上のための技術開発	牛胚の新鮮胚移植範囲の拡大及び凍結胚移植技術改善(単)	H19~21年度 円 (3,087,000) 2,141,248	農林総合研究所畜産試験場	雌成牛 20頭
<p>1 本年度の試験研究調査等の目的とその到達点</p> <p>(1) 試験研究の背景・目的 近年、優良牛から多数の牛胚(牛の受精卵)を採取して他の牛に移植し増産する技術が活用されている。鳥取県は、北海道・九州等と比較して牛の飼養頭数が少ないため、受精卵を移植される牛を確保しにくい状況が問題である。その解決として、新鮮胚移植の利用性向上及び凍結胚移植技術の改善の技術を検討する。</p> <p>① 新鮮胚移植の利用性向上 受胎率が高い新鮮胚移植で、移植出来る牛を増やすため、移植可能な性周期の範囲(発情から7日目限定)を拡大する(7日目から10日目にまで広げる)技術を開発する。</p> <p>② 凍結胚移植技術改善 凍結胚移植の受胎成績を向上させるため、凍結用の溶液に卵黄・糖類等の添加効果を検討する。</p> <p>&lt;用語説明&gt; ○新鮮胚移植：牛受精卵を凍結保存せず新鮮なまま移植する。 ○凍結胚移植技術：牛受精卵を超低温で凍らせて保存し、牛の都合の良い時に融解して移植する。</p> <p>2 試験研究調査の成果の概要</p> <p>① 新鮮胚移植範囲の拡大 10日目の移植は通常では受胎率0%であるが、CIDER(腔内残留黄体ホルモン製剤)の利用により、受胎率25%で成功したが、7日目の受胎率42%と比べて受胎率が低く実用的成績には達しなかった。</p> <p>② 凍結胚移植技術改善 予想以上に発育の進んだ段階(拡張胚盤胞から胚盤胞)の胚において、通常の凍結用溶液を用いた場合受胎率が41%であったが、蔗糖の0.1M添加凍結用溶液を用いることにより受胎率が50%と向上し、実用可能なレベルに達した。</p> <p>3 今後の課題・展開</p> <p>①新鮮胚移植範囲の拡大 性周期が発情後10日目CIDER挿入で受胎に成功したが、実用可能なレベルまでには達しなかった。</p> <p>②凍結胚移植技術改善 蔗糖添加で、発育の進んだ段階の胚でも、実用可能な受胎率(50%以上)が得られたことから、今後さらに検証を重ね、農家段階における実用的な胚の凍結保存に活用する。</p>					

(2)

担当室別	事業名	試験研究調査の目的	実施計画期間	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲
			(予算額) 支出済額		
肉用牛研究室	ガラス化保存による牛性判別胚の簡易融解技術の確立	牛のガラス化保存性判別胚の簡易融解技術を開発し、農家現場での普及を図る(単)	H19~22年度 円 (4,166,000) 2,889,755	農林総合研究所畜産試験場	体外受精卵、体内受精卵、牛20頭
<p>1 本年度の試験研究調査等の目的とその到達点</p> <p>(1) 試験研究の目的 乳牛で牛乳を生産出来る雌を得たい場合など、多くの場面で牛の雌雄産み分け法は必要な技術となる。産み分け法の一つに移植する胚(受精卵)の一部を切断して子の性別を調べる方法があるが、切断胚は通常の方法で凍結保存する事が難しい。また、ガラス化保存は胚への傷害が少ないが融解後の作業が難しく、現場での普及が難しい。 このため現場で簡易に融解・移植できる方法を検討している。 ※胚のガラス化保存：胚の凍結時に氷を作らず、安定した固体(ガラス状態)になるため凍結による胚へのダメージが少ない。</p> <p>2 試験研究調査の成果の概要</p> <p>(1) 取り組んだ内容と成果</p> <p>① ガラス化保存液の比較、検討 4種類のガラス化保存液で比較検討を行った。EFS(エチレングリコール+フィコール+ショ糖)では性判別胚のガラス化保存でも融解後に良好な生存性が確認され、EFSがガラス化保存液として利用出来る事が判明した。</p> <p>② ガラス化保存胚の牛への移植実証試験 現在、牛へガラス化保存した性判別胚の移植を行っている。</p> <p>3 今後の課題</p> <p>(1) 引き続き牛へガラス化保存した性判別胚の移植を行い、実用的な受胎率を得る。 (2) 技術を確立させ、農家での胚の簡易融解技術のマニュアル化(普及)を目指す。</p>					

(3)

担当室別	事業名	試験研究調査の目的	実施計画期間	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲
			(予算額) 支出済額		
肉用牛研究室	経膈採卵による1卵性多子生産技術の開発	先進の繁殖技術活用による種雄牛造成の効率化・迅速化(単)	H20~24年度	農林総合研究所畜産試験場	成雌牛 20頭
			円 (4,820,000) 3,343,546		
<p>1 本年度の試験研究調査等の目的とその到達点</p> <p>(1) 試験研究の目的            先進の繁殖技術(経膈採卵技術※等)を活用すれば、雌牛が通常に出産可能な産子数を大幅に上回る産子を得ることができ、1卵性の双子や三つ子(1卵性多子※)が生産可能である。この技術により生産した1卵性多子を、和牛の種雄牛候補の能力判定に用いることで種雄牛造成の効率化・迅速化を図り、優良種雄牛の早期提供とコストダウンを実現する。</p> <p>※用語  <b>【経膈採卵】</b>            雌牛の卵巣から卵子を採取する技術。多数の卵子(未受精卵)を得ることができる。得られた卵子を受精させて受精卵(胚)を作り、1度に多数の胚を生産することができる。不妊牛など、生殖機能に異常がある牛からも採卵可能(産子生産が可能)。  <b>【1卵性多子】</b>            (1つの胚に由来するため)全く同じ遺伝情報を持つ双子や三つ子のこと。個体のバラつきによる悪影響が少なく、種雄牛能力判定や試験研究への利用効果が非常に高い。</p> <p>2 試験研究調査の成果の概要</p> <p>(1) 取り組んだ内容と成果            経膈採卵技術の確立：前年度に比べて回収個数と正常卵子率が増加し(前年度比それぞれ132%、516%)、技術の向上が得られ、効率的な胚生産が可能となりつつある。今後、次の段階である1卵性多子生産技術の検討に移行する。</p> <p>3 今後の課題</p> <p>(1) 経膈採卵技術のさらなる改良による良質卵子の採取効率向上。            (2) 受精卵培養技術の再検討による胚生産効率の向上。</p>					

(4)

担当室別	事業名	試験研究調査の目的	実施計画期間	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲
			(予算額) 支出済額		
肉用牛研究室	粗飼料重視型肉用牛経営システム試験	放牧と飼料用稲給与による和牛飼育管理技術の確立(単)	H18~22年度	農林総合研究所畜産試験場	繁殖成雌牛 8頭 子牛 7頭
			円 (4,446,000) 3,084,074		
<p>本年度の試験研究調査等の目標、試験研究調査の成果・課題については、「6 主な事業に関する調べ」に記載。</p>					

(5)

担当室別	事業名	試験研究調査の目的	実施計画期間	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲																																												
			(予算額) 支出済額																																														
肉用牛研究室	現地普及型肥育技術実証試験	地域資源(稲ホークロップサイレージ、豆腐粕等)の肥育牛への給与技術の活用及び普及(単)	H20~22年度 円 ( 704,000) 488,318	農林総合研究所畜産試験場	肥育牛16頭 黒毛和種 8頭 乳用種 8頭																																												
<p>1 本年度の試験研究調査等の目標</p> <p>(1) 現地問題解決型肥育試験(受託試験)の実施</p> <p>ア 乳用種去勢肥育牛の生産性向上試験(委託者:M牧場H20) M牧場の経営改善のため乳用種去勢肥育牛の最適な肥育期間を検討する。現行21カ月齢で出荷している肥育牛の肥育期間を2カ月延長した場合の発育や肉質への影響を調査した。</p> <p>イ 黒毛和種去勢肥育牛産肉成績向上試験(委託者:KファームH21) 黒毛和種肥育牛への前期給与飼料の粗飼料割合(20%、40%)の違いが、その後の肥育の飼料摂取量、発育、枝肉成績等を調査する。</p> <p>2 試験研究調査の成果・課題</p> <p>乳用種去勢肥育牛の生産性向上試験(委託者:M牧場) 出荷月齢の延長は枝肉重量は大きくなるが肉質にはほとんど差はなく経営的にも優位性は見られないことが判明した。この結果はM牧場のほか県内の肥育農家の経営計画、販売戦略策定上有効な情報となると思われる。今後は21カ月齢出荷での肉質向上や飼料効率を向上させる飼養方法を確立するため、肥育期別の栄養水準等を検討する必要がある。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>表1 試験牛の枝肉成績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>枝肉重量</th> <th>枝肉歩留</th> <th>ロース芯面積</th> <th>ハラ厚</th> <th>皮下脂肪厚</th> <th>歩留基準値</th> <th>BMS</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常区</td> <td>487.1<sup>a</sup></td> <td>56.8%</td> <td>44</td> <td>6.9</td> <td>2.7<sup>a</sup></td> <td>69.3<sup>a</sup></td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>延長区</td> <td>539.7<sup>b</sup></td> <td>57.8%</td> <td>45</td> <td>6.3</td> <td>4.3<sup>b</sup></td> <td>67.0<sup>b</sup></td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>異符号間に有意差 AB:&lt;0.01 ab:&lt;0.05</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>表2 経営収支</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>枝肉単価</th> <th>枝肉金額</th> <th>飼料費</th> <th>1日当り<sup>※</sup>増加額</th> </tr> <tr> <th></th> <th>円</th> <th>円</th> <th>円</th> <th>円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常区</td> <td>775</td> <td>377,531</td> <td>226,563</td> <td>54.8</td> </tr> <tr> <td>延長区</td> <td>775</td> <td>417,890</td> <td>262,236</td> <td>57.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※(枝肉金額-もと牛価格-飼料費)/肥育日数 もと牛価格は129,000円で計算</p> </div> </div>						区分	枝肉重量	枝肉歩留	ロース芯面積	ハラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS	通常区	487.1 <sup>a</sup>	56.8%	44	6.9	2.7 <sup>a</sup>	69.3 <sup>a</sup>	2.3	延長区	539.7 <sup>b</sup>	57.8%	45	6.3	4.3 <sup>b</sup>	67.0 <sup>b</sup>	2.5	区分	枝肉単価	枝肉金額	飼料費	1日当り <sup>※</sup> 増加額		円	円	円	円	通常区	775	377,531	226,563	54.8	延長区	775	417,890	262,236	57.4
区分	枝肉重量	枝肉歩留	ロース芯面積	ハラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS																																										
通常区	487.1 <sup>a</sup>	56.8%	44	6.9	2.7 <sup>a</sup>	69.3 <sup>a</sup>	2.3																																										
延長区	539.7 <sup>b</sup>	57.8%	45	6.3	4.3 <sup>b</sup>	67.0 <sup>b</sup>	2.5																																										
区分	枝肉単価	枝肉金額	飼料費	1日当り <sup>※</sup> 増加額																																													
	円	円	円	円																																													
通常区	775	377,531	226,563	54.8																																													
延長区	775	417,890	262,236	57.4																																													



(6)

担当室別	事業名	試験研究調査の目的	実施計画期間 (予算額) 支出済額	試験研究 調査を行う 場所	試験研究調査の対象・ 数量・範囲
			H13~22年度 円 (3,177,000) 2,203,675		
育種改良 研究室	優良遺伝子を用いた 新鳥取和牛の創造	経済形質に関わる優良遺伝子 領域の探索(単)		農林総合 研究所畜 産試験場	黒毛和種種雄牛・種雄 候補牛及びその肥育産 子のDNAサンプル

## 1 本年度の試験研究調査等の目標

## (1) 試験研究の目標

県内繁殖雌牛の改良と消費者ニーズに合った「美味しい」鳥取和牛肉のブランド化を目指して、産肉性や種牛性に関わる優良遺伝子を探索し、種雄候補牛や優良雌牛の選抜に活用することにより市場(子牛・枝肉)価値の高い「鳥取和牛」の創造を図る。

※産肉性とは：枝肉重量、脂肪交雑(霜降り具合)などの肉量・肉質に関する能力

※種牛性とは：飼いやすさ、繁殖性、哺育などに関する能力

## (2) 試験研究の内容

肉の量や霜降りの入り具合、うまみ等に関与する優良遺伝子領域を特定し、優秀な種雄候補牛の選抜に活用。

## 2 試験研究調査の成果・課題

(1) 産肉性に関わる15の優良遺伝子領域を特定(枝肉重量：5 ロース芯面積：3 脂肪交雑：7)。そのうち枝肉重量に関わる1つの責任遺伝子を突き止めた。(国内外で特許申請)

(2) 特定した優良遺伝子領域を保有する「勝安波」や「八重勝」を選抜。全国トップレベルの枝肉成績を治め、県内繁殖雌牛の改良や鳥取和牛肉のブランド化に大きく貢献することが期待される。

## 全国有名種雄牛との枝肉成績比較

	枝肉重量	ロース芯面積	脂肪交雑
勝安波	444.5kg	52.6cm <sup>2</sup>	6.6
八重勝	462.8kg	52.4cm <sup>2</sup>	6.1
有名種雄牛A	462.7kg	56.8cm <sup>2</sup>	6.3
有名種雄牛B	448.0kg	53.8cm <sup>2</sup>	6.0
全国平均	438.7kg	54.1cm <sup>2</sup>	5.5

※肉用牛枝肉情報全国データベースを参考

## (3) 課題

今後も、新たな優良遺伝子の探索を進めるとともに、今までに特定された優良遺伝子領域の効果検証を実施し、優良雌牛の選抜への活用など農家普及につなげていくことが課題。

(7)

担当室別	事業名	試験研究調査の目的	実施計画期間	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲
			(予算額) 支出済額		
育種改良研究室	鳥取和牛肉うまみ開発試験	牛肉の「美味しさ」に関わる成分分析(単)	H17~24年度	農林総合研究所畜産試験場	肥育農家の肥育牛 207頭
			円 (6,013,000) 4,859,617		

### 1 本年度の試験研究調査等の目標

#### (1) 試験研究の目標

- 牛肉脂肪中のオレイン酸割合は和牛肉の美味しさと深く関わりを持つといわれるものの、和牛枝肉の評価項目にオレイン酸割合の評価がない。
- 全国に先駆けて鳥取県が枝肉評価項目に取り入れることを目指す。
- 鳥取和牛肉のオレイン酸割合の評価を行うことで、鳥取和牛肉の美味しさがさらに向上し、消費者に美味しい和牛肉を提供出来るだけでなく、鳥取和牛肉のブランドカアップによる生産者の所得向上をねらう。

#### (2) 試験研究の内容

食肉脂質測定装置\*によるオレイン酸割合の評価にあたり、予測精度及び測定のしやすさなどの面からどの部位のオレイン酸割合の測定を行うのか、その測定部位の検討を行った。

※食肉脂質測定装置・・牛枝肉の脂肪組織に光をあて、枝肉を傷つけることなく、枝肉格付け前にオレイン酸割合を測定する。

### 2 試験研究調査の成果・課題

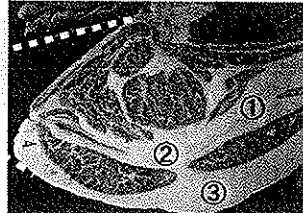
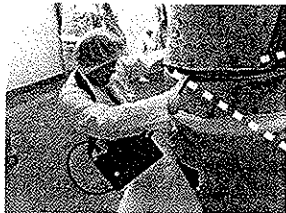
#### (1) 成果

枝肉格付け面の脂肪組織3部位(筋間、筋間上、皮下)について、測定部位の検討を行ったところ、予測精度及び測定のしやすさの面から、「筋間」を測定部位とすることとした。

#### (2) 課題

消費者にオレイン酸割合評価値を理解してもらうために、オレイン酸割合評価値と和牛肉の美味しさとの関係の調査が必要(現在、県畜産課要求事業「鳥取和牛再生事業(うまみ基準作り)」の中で実施)。

図1 装置によるオレイン酸割合の測定の様子及び調査部位(枝肉格付け面)の名称



- ①筋間
- ②筋間上
- ③皮下



「筋間」を測定部位とする  
(測定場所は予測精度が高く、どの枝肉でも測定可能な場所であればいけない。)

枝肉格付け面に装置の測定プローブを挿入して右図の3部位の測定を行い、予測精度及び測定のしやすさから測定部位の検討を行った

(8)

担当室別	事業名	試験研究調査の目的	実施計画期間	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲
			(予算額) 支出済額		
育種改良研究室	和牛産肉能力直接検定試験	和牛産肉能力直接検定の実施(単)	S54年度～	農林総合研究所畜産試験場	黒毛和種雄子牛・12頭
			円 (2,895,000) 1,899,592		

## 1 本年度の試験研究調査等の目標

## (1) 試験研究の目標

一定期間飼育して発育や飼料利用効率等の能力調査を行い、種雄候補牛の一次選抜を行う。

## (2) 試験研究の内容

黒毛和牛の登録団体である(社)全国和牛登録協会が定める直接検定法に従って実施

- 期間・・・・・・検定期間(112日)＋予備飼育(20日間)
- 調査内容・・・・・・発育(体重・体高・胸囲等)、飼料摂取量、飼料利用効率
- 対象雄子牛・・・・産肉能力に秀でた改良基礎雌牛の産子及び場内受精卵産子
- 年間実施頭数等・・・・12頭
- 選抜方法・・・・・・鳥取県和牛産肉能力検定委員会に諮問

※ 鳥取県では、体高が $-0.5\sigma$ 以上、1日当たりの増体量が1.16以上の発育で、兄妹牛の産子成績等が優良かつ優良DNA領域を保有している種雄候補牛を直接検定試験合格としている。

## 2 試験研究調査の成果・課題

## (1) 平成21年度に実施した直接検定試験の結果は、下記のとおりである。

検 定 開 始 年 度		平成20年度						
名 号		伯耆星	勝忠照	山 櫻	安福晴	第2平勝忠	安照久1	
生 年 月 日		H20.5.23	H20.5.5	H20.7.31	H20.7.17	H20.8.2	H20.9.24	
父		茂勝栄	勝忠平	福桜	安福久	第2平茂勝	安福久	
検 定 期 間		H20.12.26 ～ H21.4.17		H21.2.27 ～ H21.6.19		H21.4.17 ～ H21.8.7		
	検 定 成 績	体 高 (+0.9 $\sigma$ )	124.0 (+1.9 $\sigma$ )	129.0 (+0.8 $\sigma$ )	123.4 (-0.2 $\sigma$ )	121.2 (+0.9 $\sigma$ )	127.6 (+1.8 $\sigma$ )	
	増 体 量	1.38	1.3	1.38	1.17	1.24	1.29	
結 果		保留・育成	保留・育成	不合格	不合格	不合格	保留・育成	
検 定 開 始 年 度		平成21年度						
名 号		福金桜3	大山	白兎	福増	関5福千東平茂	鼓男	総太
生 年 月 日		H20.11.19	H20.10.25	H20.10.6	H21.2.24	H21.4.14	H21.4.26	H21.4.26
父		福桜	茂勝栄	安福2002	安平吉	東平茂	百合茂	国率白清
検 定 期 間		H21.6.12 ～ H21.10.2			H21.10.16 ～ H22.2.5	H21.12.11 ～ H22.4.2		
	検 定 成 績	体 高 (+0.6 $\sigma$ )	122.0 (+0.4 $\sigma$ )	123.4 (-0.8 $\sigma$ )	検定中		検定中	
	増 体 量	1.2	1.34	1.06	検定中		検定中	
結 果		不合格	保留・育成	保留・育成	検定中		検定中	

## (2) 課題

優秀な種雄候補牛の選抜

(9)

担当室別	事業名	試験研究調査の目的	実施計画期間	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲
			(予算額) 支出済額		
育種改良研究室	現場後代検定試験	現場後代検定試験(単)	H13年度～	農林総合研究所畜産試験場	畜産試験場・肥育農家 18頭
			円 (32,173,000) 19,995,571		

## 1 本年度の試験研究調査等の目標

## (1) 試験研究の目標

直接検定法で選抜された種雄候補牛の産子を肥育農家と同様な方法で肥育し、その枝肉成績を見る。その成績から県内繁殖雌牛の改良や鳥取和牛のブランド化に貢献することができる優れた種雄牛を選抜・造成する。

## (2) 試験研究の内容

- ア 後代検定調査牛取得のための試験種付  
 イ 後代検定調査牛の血液型検査及び選定  
 ウ 後代検定調査牛を肥育、その成績による種雄牛の選抜  
 (7) 肥育期間：去勢29ヵ月齢未満、雌32ヵ月齢未満  
 (4) 肥育場所：県内肥育農家及び畜産試験場  
 (9) 肥育頭数：1種雄候補牛当たり18頭(うち10頭を畜産試験場で実施)  
 (1) 選抜方法：鳥取県和牛産肉能力検定委員会に諮問

## 2 試験研究調査の成果・課題

## (1) 平成21年度現場後代検定終了牛

検定終了した種雄牛は「糸寿」、「福西松」、「八重勝」の3頭であった。鳥取県和牛産肉能力検定委員会において、糸寿は不合格、福西松、八重勝は合格と決定された。福西松は、祖父が高森、曾祖父が糸北鶴で鳥取県固有の血を引き継ぎ、枝肉重量において、八重勝は枝肉重量、脂肪交雑(BMS)において全国平均を大きく上回る成果を得た。このことは県内繁殖雌牛の改良に大きく貢献することが期待されるとともに肥育農家においては鳥取和牛肉の品質向上に期待が出来る。

表1 現場後代検定終了牛の成績概要

名号	検定実施期間	調査牛頭数		枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm <sup>2</sup> )	BMS (No)	結果
		うち畜試					
糸寿	H19年6月～H21年5月	17	10	465.0	43.9	3.9	不合格(廃用)
福西松	H19年9月～H21年9月	17	9	473.3	51.9	5.4	合格
八重勝	H20年1月～H22年1月	17	9	462.8	52.4	6.1	合格
平成20年度全国肥育成績(全国枝肉情報データベース)				446.4	54.3	5.5	156,235頭の平均

## (2) 現場後代検定の実施状況と今後の予定

現在、5種雄牛49頭の調査牛を飼育し、現場後代検定を実施している。平成22年度は新たに3種雄牛の調査牛を購入し、3種雄牛の検定を終了する予定。

表2 後代検定の実施状況

名号	検定実施予定期間	実施頭数		飼養頭数 (畜試)
		うち畜試		
勝大山	H20.4～H22.6	18	10	7
峰友	H20.10～H22.11	18	10	10
金勝忠	H21.1～H23.2	19	12	12
琴福鶴	H21.6～H23.7	18	12	12
香月	H21.10～H23.11	18	8	8
				49

## (3) 課題

更なる肥育技術の向上

(10)

担当室別	事業名	試験研究調査の目的	実施計画期間	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲
			(予算額) 支出済額		
育種改良研究室	牛の精液供給事業	凍結精液の作成及び配布(単)	S53年度～	農林総合研究所畜産試験場	黒毛和種種雄牛及び候補牛：24頭
			円 (10,307,000) 7,179,683		

1 本年度の試験研究調査等の目標  
優秀な種雄牛や種雄候補牛の人工授精用凍結精液を計画的に生産・保管し、農家ニーズに即した和牛精液を安定供給する。

2 試験研究調査の成果・課題

(1) 成果

ア 凍結精液の生産本数 (H21.4.1～H22.1.31) 16,658本 (下表のとおり)

イ 凍結精液の配布本数 (H21.4.1～H22.1.31) 3,337本 (うち売却 2,734本)

平成21年度種雄牛(待機牛、育成牛含む)一覧

名号	生年月日	現場後代検定期間予定	生産本数	備考
1 金平勝	H12.12.17			6月廃用
2 北福内	H14.6.1		0	
3 勝安波	H13.12.16		4571	
4 系寿	H16.6.1	H19年6月～H21年5月	0	検定不合格、7月廃用
5 福西松	H16.7.29	H19年11月～H21年10月	248	
6 八重勝	H16.6.26	H20年1月～H21年12月	723	
7 勝大山	H17.5.5	H20年6月～H22年4月	0	
8 峰友	H17.6.3	H20年10月～H22年8月	152	
9 金勝忠	H18.5.7	H21年1月～H22年11月	1252	
10 琴福鶴	H18.9.20	H21年7月～H23年5月	1386	
11 香月	H18.10.28	H21年10月～H23年8月	714	
12 泰紀勝	H18.12.17	H22年2月～H23年12月	1039	
13 琴福波	H19.1.4		169	7月廃用
14 花平忠	H19.4.21		511	
15 百合風	H19.4.24	H22年10月～H24年9月	830	
16 安平久	H19.6.26	H22年6月～H24年4月	1939	
17 高桜	H19.9.18		831	
18 野上茂	H19.10.18	H23年4月～H25年3月	1631	
19 福波桜	H20.1.7		0	7月廃用
20 勝忠照	H20.5.5		366	
21 伯耆星	H20.5.23		107	
22 安照久1	H20.9.24		0	
23 白兔	H20.10.6	H23年4月～H25年6月	189	
24 大山	H20.10.25		0	
合計			16658	

(2) 課題

凍結精液販売数量の増加

(11)

担当室別	事業名	試験研究調査の目的	実施計画期間	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲
			(予算額) 支出済額		
酪農・飼料研究室	自給飼料生産拡大試験	飼料用トウモロコシ増産のための2期作及びトウモロコシサイレージ多給試験の実施(単)	H20～22年度	農林総合研究所畜産試験場	泌乳牛：20頭 コーンサイレージ
			円 (10,429,000) 7,234,067		

本年度の試験研究調査等の目標、試験研究調査の成果・課題については、「6 主な事業に関する調べ」に記載。

(12)

担当室別	事業名	試験研究調査の目的	実施計画期間 (予算額) 支出済額	試験研究調査を行う場 所	試験研究調査の対象 ・数量・範囲
酪農・飼料 研究室	粗飼料増産のための 優良品種選定試験	優良品種を選定するた めの試験栽培(委)	S56年度～ 円 ( 79,000) 54,797	農林総合研究所畜産試 験場	イアラウグラス ライギ トモコシ
<p>1 本年度の試験研究調査等の目標</p> <p>(1) 試験研究の目標 鳥取県の気候に適した牧草や飼料作物の優良品種を選定するための試験栽培を行い、自給飼料の生産基盤強化と増産を図る。</p> <p>(2) 試験研究の内容 牧草や飼料作物の栽培試験を行い、生長や収量性を調査することで本県の栽培条件に適合するかを確認し、農家が栽培する際の品種選定の資料とする。</p> <p>2 試験研究調査の成果・課題</p> <p>(1) 具体的なデータを示すことで県内農家が収量の多い、優秀な自給飼料を栽培することができる。</p> <p>(2) 栽培している状況を直接見てもらうことで、実際の生長を確認してもらうことができた。</p> <p>(3) イアラウグラス5品種、ライギ1品種、トモコシ8品種を試験栽培し、それぞれ3年間の成績で判断する。</p> <p>(4) 今後の課題として、引き続き現場のニーズを反映した品種選定に努める。</p>					

(13)

担当室別	事業名	試験研究調査の目的	実施計画期間 (予算額) 支出済額	試験研究調査を行 う場所	試験研究調査の 対象・数量 ・範囲
酪農・飼 料研究室	飼料分析を活用した給 与技術改善支援事業	飼料分析を活用した給 与技術改善支援(単)	S58年度～ 円 (5,625,000) 511,208	農林総合研究所 畜産試験場	飼料分析件 数:597件
<p>1 本年度の試験研究調査等の目標</p> <p>(1) 試験研究の目標 ① 家畜飼料の栄養成分分析を行い、給与する飼料の栄養成分の基礎データとして活用。 ② 適正な栄養管理による家畜の生産性(牛乳・牛肉)の向上。</p> <p>(2) 試験研究の内容 ① 飼料の栄養成分や品質を分析し、適正な飼料の利用方法を農家に指導。 ② 適正なTMR(注1)の調製技術を農家に指導。</p> <p>2 試験研究調査の成果・課題</p> <p>(1) 農家からの分析依頼件数は年々増加しており、綿密な飼料利用の基礎データとして活用されている。</p> <p>(2) 実際の栄養分析結果を用いて、農家を対象とした研修会を開催した(7回)。</p> <p>(3) TMRについては、その性状や栄養成分の分析を行ない、適正なTMR調製技術を指導した。</p> <p>(4) 今後の課題として、自給飼料について栽培技術の改善指導を行い、高品質な飼料の確保を支援する。</p> <p>(注1) TMR:牛に与える飼料の全てが混合されたもので、必要な栄養を含有することができる</p>					